EPSON

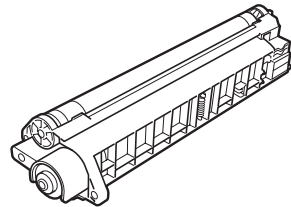
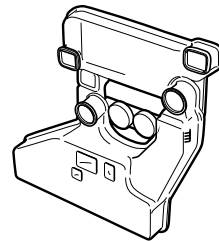
EPSON カラーレーザープリンタ用

感光体ユニットキット

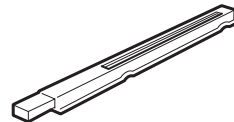
型番 LPCA4KUK1

同梱品の確認

感光体ユニットキットをご購入いただくと、次の消耗品が含まれています。同時に全て交換してください。

- 感光体ユニット（感光体に電荷を与えて印刷する画像を作る装置）

- 廃トナーボックス（印刷時に出る余分なトナーを回収するボックス）

- プリントヘッドフィルタ（こぼれ落ちるトナーからプリントヘッドを守るフィルタ）

Printed in Japan 00.xx-xx

4012487-00
EM1

取り扱い上の注意

⚠警告

- **使用済みの感光体ユニットは、絶対に火の中に入れないでください。**
- **使用済みの廃トナーボックスは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。**

- 感光体（青い円筒部分）の表面は手で触らないでください。また、感光体の表面にものをぶつけたり、こすったりしないでください。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと良好な印刷ができなくなります。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも、感光体ユニットを5分以上放置しないでください。感光体ユニットをプリンタの外に置く場合は、布などで覆い、光が当たらないようにしてください。
- 感光体表面に傷が付かないよう、作業は平らな机の上で行ってください。
- 廃トナーボックスに入っているトナーは再利用しないでください。
- プリントヘッドフィルタのガラス面には手を触れないでください。ガラス表面に手の脂が付着すると、印刷品質が低下します。

保管上の注意

- 感光体ユニットは、必ず専用の梱包袋に入れた状態で保管してください。
- 万一、感光体ユニットを使用しないのに梱包袋を開封してしまった場合、感光体ユニットを梱包袋に入れ、開封した箇所をしっかりと閉じて保管してください。
- 直射日光をさけ、以下の環境で感光体ユニットを保管してください。
  温度範囲：0 ～ 35℃
  湿度範囲：30 ～ 85%
- 感光体ユニットは、高温多湿になる場所には置かないでください。
- 感光体ユニットは、幼児の手の届かないところに保管してください。

使用済みの消耗品のお取り扱いについて

資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。回収方法については、添付されておりますご案内シートを参照してください。

やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

感光体ユニット、廃トナーボックス、プリントヘッドフィルタの交換

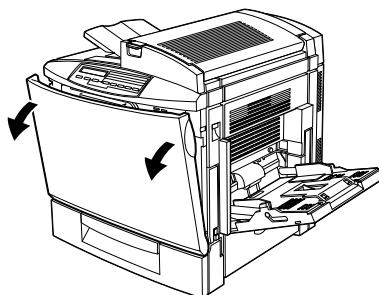
感光体ユニットを交換する際は、廃トナーボックスとプリントヘッドフィルタも同時に交換します。

操作パネルの液晶ディスプレイまたはEPSONプリンタウィンドウ !3のメッセージを確認します。

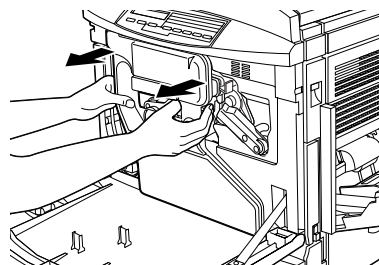
感光体ユニットの交換を促すメッセージが表示されます。

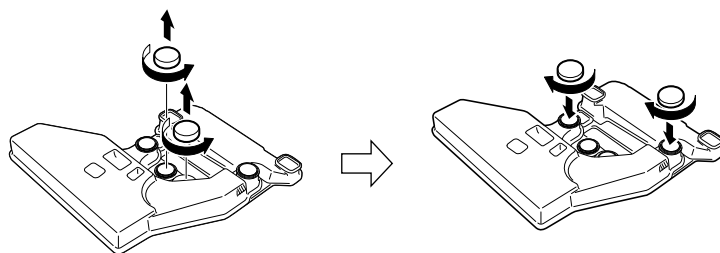
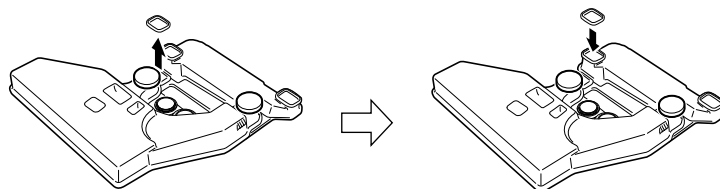
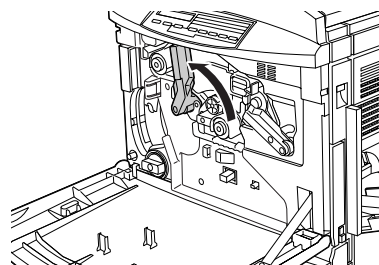
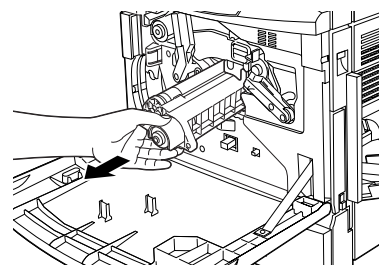
ポイント

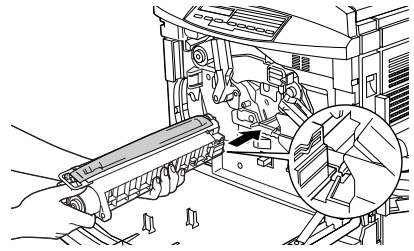
感光体ユニットの交換は、電源をオフにしなくても行えます。

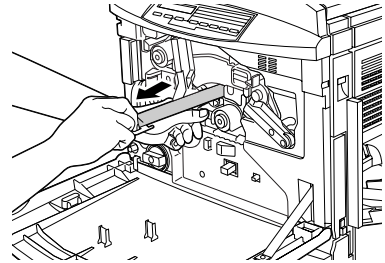
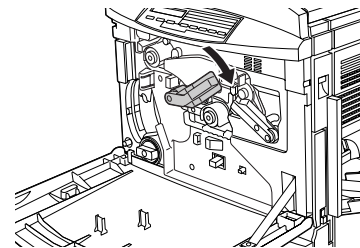
プリンタ本体の前カバーを開けます。

3

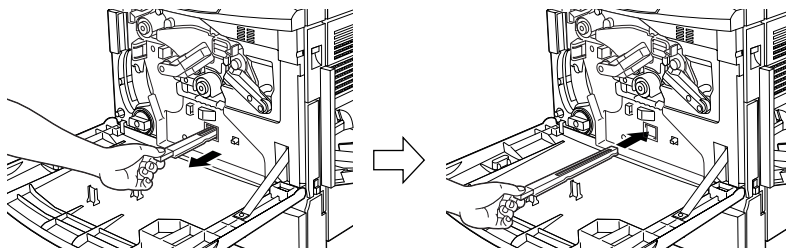
廃トナーボックスを手前に引いて取り外します。

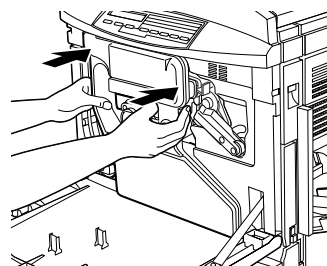
真ん中の取っ手または図の位置を持って、廃トナーがこぼれないようにゆっくりと取り外します。

廃トナーがこぼれないようにふたをします。

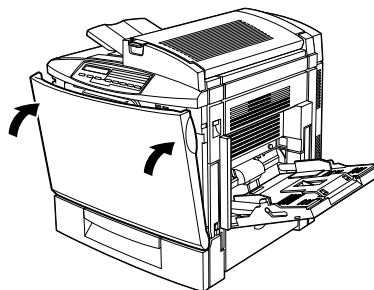
- 取り外した廃トナーボックスは使用しません。
- 廃トナーボックス裏側に付いている丸いふた2個を回して取り外し、それぞれ図の位置に取り付けます。

- 廃トナーボックス裏側に付いている四角いふたを引き抜いて、図の位置にはめ込みます。

5 **正面真ん中の緑のレバーを矢印の方向へ押し上げます。**

6 **感光体ユニットを手前に引き抜きます。**

7 **新しい感光体ユニットを梱包から取り出し、下部のガイドをプリンタのレールに合わせてからまっすぐに押し込みます。**

黒い保護シートは、はがさないまましっかりと奥まで押し込んでください。

- **黒い保護シートを外して、感光体（青い円筒形の部分）の表面に手を触れないでください。また物をぶつけたり、こすったりしないでください。感光体の表面に手の脂が付いたり傷が付くと、印刷品質が悪くなります。**
- **感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも5分以上放置しないでください。**
- **感光体ユニットのガイドをプリンタ内のレールに正しく合わせて、プリンタの奥までしっかり押し込んでください。その際、保護シートをかぶせた部分を他の部品に強く接触させないよう十分注意してください。**

8 **感光体ユニットをプリンタ内部に入れた状態のまま、黄色の取っ手を持って黒い保護シートをゆっくり引き抜きます。**

9 **正面真ん中の緑のレバーを矢印の向きに倒します。**

10 プリントヘッドフィルタを交換します。

- 先端部分を少し押し下げてから、ゆっくり引き抜きます。
- 新しいプリントヘッドフィルタをプリンタの奥までゆっくり差し込みます。

- **プリントヘッドフィルタのガラス面には手を触れないでください。ガラス表面に手の脂が付着すると、印刷品質が低下します。**
- **プリントヘッドフィルタは感光体ユニットの交換が終わってから交換してください。先に交換すると、フィルタ上にトナーが落ち印刷品質が低下するおそれがあります。**

新しい廃トナーボックスを取り付けます。

12 プリンタの前カバーを閉じます。

前カバーを閉じると、自動的に印刷可能な状態に戻ります。また感光体ユニットの寿命算出用カウンタもリセットされます。

前カバーが閉じない場合は、廃トナーボックスがしっかり装着されているか確認してください。